

大幅値上げの介護保険事業の総括 小木直江津航路への姿勢 市職員の給与削減案など

9月議会 11項目について質疑 橋爪議員団長が総括質疑

4日から始まった9月議会では、冒頭の市長の提案説明に対し、各会派から総括質疑が行われました。

日本共産党議員団からは、橋爪団長が質疑に立ち、市民の立場から市長に直接たずねました。

質疑の内容は、事前の議員団会議で討議し、市民生活に直接関わる重要な点を選んだものです。討議の結果、(仮

称)厚生産業会館整備事業の総括、デイサービスセンター等の民間事業者への譲渡、介護保険の総括、北陸新幹線上越妙高駅周辺地区における企業等の立地の促進に関する条例、一般職の給与削減、小木直江津航路への支援など、11項目にのぼりました。

論戦の詳しい内容は、次回以降にお知らせいたします。

9月15日15:00~ 焼き肉のつどい 金谷山公園で

平良木議員の地域で 参加協力費1000円

初秋恒例の行事となった高田地域での「焼き肉のつどい」。今年は9月15日に計画され、準備が進められています。

今年は6~8人ごとのグループそれぞれに焼き肉コンロが用意され、まさに焼きつつ食べるという形で楽しめます。

たくさんのおいでのお待ちしております。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.376 2013年9月8日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)

上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)



いよいよ収穫の秋。上越でも稲刈りが始まりました。(下新町で)

総合防災訓練に1200人が参加

大雨での洪水想定

諏訪区、北諏訪区を対象に



8月31日、市の総合防災訓練が、諏訪地区、北諏訪地区を訓練対象区域として行われました。主な想定は、前線による豪雨とそれによる河川の水位上昇で、スムーズな住民の避難や、関係機関の対応訓練、それに県集と救助訓練などが組み合わされた1200人が参加する総合的な訓練となりました。

午前9時の避難準備情報に続き、9時30分に避難勧告が出されると、避難先に指定された諏訪小学校と北諏訪小学校には、付近の住民が次々に集まり、誘導にしがたがって整然と避難しました。そのほかに、いろいろな防災機器の展示や体験なども行われ、いざというときのための心構えとなりました。

特に、医療救護訓練で

は、医師が説明にたち、「実際の災害現場では、医師も医療スタッフも極度に足りなくなる予想され、負傷者を緊急性の優先度にしたがって区別する『トリアージ』が必要になる。軽傷で緊急性の低い負傷者は、いくら痛がっても重傷者の手当のあとになるし、死亡者や手遅れと見なされると、手当をあきらめざるを得ない。東日本大震災の際もそうしたことがあった」とのこと。これには、説明を聞いた市民は声もありませんでした。

参加した市民は、「北諏訪は保倉川・重川があるので、いつリアルに河川の氾濫があるか分かりません。今回の訓練が役に立ったら良いですね」「暑くて熱中症一步手前でしたが、こういった訓練も大事ですね。いざという時に動くことができ、てこそその消防です」といった感想を語っていました。

今回の訓練では、今年度予算約260万円を支出して導入された「災害時等情報連絡システム」(木田庁舎、教育プラザ、13区総合事務所をつないでテレビで会議を行う仕組み)がどう機能するかの訓練もありました。当日は、このシステムを使った会議を初めて行い、被災想定地域の情報を共有しました。

東京都の半分にもなる広大な面積を持つわが上越市にとって、災害時には、スタッフがそれぞれの場所に分散したままでも会議ができるかどうかは、重要な問題です。この装置が効果的に働いたかどうか、実際の災害時に役立ちそうかの検証が大事です。